



## 2019年6月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2018年11月9日

上場会社名 株式会社湖池屋  
 コード番号 2226 URL <https://koike-ya.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長  
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部 副本部長  
 四半期報告書提出予定日 2018年11月14日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 (氏名) 小池 孝  
 (氏名) 金子 恭一  
 TEL 03-3979-2116

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年6月期第1四半期の連結業績(2018年7月1日～2018年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年6月期第1四半期	7,731	9.0	143		107		116	
2018年6月期第1四半期	7,090	5.8	418		406		316	

(注) 包括利益 2019年6月期第1四半期 72百万円 ( %) 2018年6月期第1四半期 269百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年6月期第1四半期	21.85	
2018年6月期第1四半期	59.34	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年6月期第1四半期	21,572	11,778	54.1
2018年6月期	22,947	12,104	52.3

(参考) 自己資本 2019年6月期第1四半期 11,664百万円 2018年6月期 12,008百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年6月期		0.00		47.50	47.50
2019年6月期					
2019年6月期(予想)		0.00		40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2019年6月期の連結業績予想(2018年7月1日～2019年6月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	16,740	9.2	236		250		100		18.75
通期	33,980	5.4	600	121.7	630	73.1	300	118.2	56.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(注)詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年6月期1Q	5,335,000 株	2018年6月期	5,335,000 株
期末自己株式数	2019年6月期1Q	775 株	2018年6月期	775 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年6月期1Q	5,334,225 株	2018年6月期1Q	5,334,225 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(日付の表示方法の変更)

「2019年6月期 第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(会計方針の変更) .....	7
(追加情報) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益の改善を受け、設備投資や雇用及び所得環境の改善効果もあり、緩やかな回復基調で推移しています。一方で、個人消費につきましては、未だ消費マインドの回復には至らず、記録的な猛暑や豪雨、台風などの天候要因による下振れや、貿易摩擦の激化など、景気の先行きは楽観できない状態が続いております。

このような状況の下、当社は主力事業であるスナック部門のマーケティング戦略として、高付加価値製品展開によるポテトチップスの価値向上、社会環境の変化に伴う需要の多様化に対応した製品の開発及び既存ブランドの活性化を主軸とした施策を積極的に推し進め、事業活動を展開しました。

価格競争の影響によりポテトチップスがコモディティ化する市場において、ポテトチップスの価値向上をはかり「じゃがいものおいしさをより味わえる」をコンセプトに、厚切りで満足度の高い「じゃがいも心地」ブランドを2018年9月に発売し好評を博しました。

また、国内の少子高齢化に伴う世帯人数の減少や女性就業率上昇など個食ニーズの高まりに対応した「コイケヤミニッツ」シリーズを展開し市場拡大に努めました。

独創的なオリジナルブランドとして訴求している「ムーチョ」ブランドにつきましては、6月に発売した「タイのカラムーチョ」、「台湾のカラムーチョ」、「ベトナムのカラムーチョ」に引き続き、「アジアムーチョ トムヤムクン」、「アラビアンムーチョ ハリッサ・ビーフ」を8月に発売し、既存ブランドの強化に取り組みしました。

以上のような積極的な商品施策が奏功したことで、国内スナック事業の売上高は前年同期比、当期計画比ともに大きく上回りました。

海外事業につきましては、台湾事業が馬鈴薯不足からくる販促抑制の影響により売上高は前年同期を下回る結果となりました。ベトナム事業では、2017年10月から販売を開始したホーチミン周辺エリアを更に深耕するとともに、ハノイ、ハイフォンなど北部エリアへの販路拡大に注力しました。また、課題でもある生産性改善や原価低減活動も積極的に推進しました。

以上により、スナック部門の売上高は、7,658百万円（前年同期比9.2%増）となりました。

タブレット部門におきましては、お口の環境のバランスサポートに貢献する「乳酸菌LS1」において、予防歯科に興味を持つ顧客の獲得を強化すべくマーケティング戦略を推進しました。

以上により、タブレット部門の売上高は、73百万円（前年同期比4.1%減）となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は、7,731百万円（前年同期比9.0%増）となりました。利益につきましては、営業損失143百万円（前年同期は営業損失418百万円）、経常損失107百万円（前年同期は経常損失406百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失116百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失316百万円）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

総資産は、前連結会計年度末に比べ1,375百万円減少し、21,572百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の減少（1,017百万円）及び受取手形及び売掛金の減少（375百万円）によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ1,049百万円減少し、9,794百万円となりました。主な要因は、買掛金の減少（655百万円）及び未払法人税等の減少（327百万円）によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ325百万円減少し、11,778百万円となり、自己資本比率は54.1%となりました。主な要因は、利益剰余金の減少（369百万円）によるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2018年8月10日に公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,994,713	3,977,319
受取手形及び売掛金	6,010,057	5,634,147
有価証券	399,994	399,995
商品及び製品	547,199	679,123
仕掛品	6,055	14,476
原材料及び貯蔵品	886,980	802,544
その他	327,202	277,208
貸倒引当金	△3,234	△2,515
流動資産合計	13,168,968	11,782,299
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,160,754	2,132,013
機械装置及び運搬具(純額)	2,303,691	2,260,278
土地	1,558,433	1,558,433
その他(純額)	111,474	161,824
有形固定資産合計	6,134,354	6,112,549
無形固定資産		
その他	189,977	193,204
無形固定資産合計	189,977	193,204
投資その他の資産		
投資有価証券	2,221,480	2,227,688
その他	1,233,134	1,256,688
投資その他の資産合計	3,454,614	3,484,377
固定資産合計	9,778,946	9,790,131
資産合計	22,947,915	21,572,430
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	4,372,680	3,716,684
未払金	3,148,816	3,260,814
未払法人税等	364,882	36,943
賞与引当金	7,179	182,440
役員賞与引当金	—	4,725
その他	708,614	389,521
流動負債合計	8,602,173	7,591,128
固定負債		
役員退職慰労引当金	366,417	326,262
退職給付に係る負債	1,749,693	1,755,856
その他	125,518	120,866
固定負債合計	2,241,628	2,202,984
負債合計	10,843,801	9,794,112

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,269,591	2,269,591
資本剰余金	2,153,976	2,153,976
利益剰余金	7,773,018	7,403,097
自己株式	△2,142	△2,142
株主資本合計	12,194,442	11,824,522
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	33,286	40,303
為替換算調整勘定	△74,833	△61,588
退職給付に係る調整累計額	△144,272	△138,301
その他の包括利益累計額合計	△185,819	△159,586
非支配株主持分	95,490	113,382
純資産合計	12,104,113	11,778,317
負債純資産合計	22,947,915	21,572,430

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年7月1日 至 2017年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年9月30日)
売上高	7,090,211	7,731,693
売上原価	4,339,082	5,047,483
売上総利益	2,751,129	2,684,209
販売費及び一般管理費	3,169,561	2,828,098
営業損失(△)	△418,432	△143,888
営業外収益		
受取配当金	6,169	—
受取保険金	—	8,241
損害賠償金収入	—	17,641
その他	7,651	13,481
営業外収益合計	13,820	39,365
営業外費用		
支払利息	1,152	722
固定資産売却損	—	1,118
支払手数料	990	1,428
その他	149	—
営業外費用合計	2,291	3,269
経常損失(△)	△406,903	△107,792
税金等調整前四半期純損失(△)	△406,903	△107,792
法人税、住民税及び事業税	15,243	15,134
法人税等調整額	△129,588	△24,939
法人税等合計	△114,345	△9,804
四半期純損失(△)	△292,558	△97,988
非支配株主に帰属する四半期純利益	23,975	18,556
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△316,533	△116,544

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年7月1日 至 2017年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年9月30日)
四半期純損失(△)	△292,558	△97,988
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	13,864	7,017
為替換算調整勘定	4,390	15,134
退職給付に係る調整額	6,063	5,970
持分法適用会社に対する持分相当額	△1,354	△2,554
その他の包括利益合計	22,963	25,568
四半期包括利益	△269,594	△72,420
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△293,634	△90,312
非支配株主に係る四半期包括利益	24,040	17,891



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

当社の在外連結子会社は、当第1四半期連結会計期間より「顧客との契約から生じる収益」(IFRS第15号)を適用しております。顧客に対する一部の支払について、従来、販売費及び一般管理費としておりましたが、当第1四半期連結会計期間より売上高から控除しております。この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高及び販売費及び一般管理費はそれぞれ142,777千円減少しております。なお、本基準の適用にあたっては、経過措置として認められている本基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。